

市販食品における食品添加物の実態調査

柴田学園大学 健康栄養学科 山田 和歌子

TEL 0172-32-2289 FAX 0172-33-2486

e-mail w-yamada@shibata.ac.jp

キーワード

調理学、調理科学、食と健康

近年高齢化の進展、共働き及び単身世帯の増加、生活スタイルの多様化によりニーズが高まっている調理済み食品や加工食品は、利便性が高いだけでなく質の向上により購入量は増加しています。一方で、青森県におけるライフスタイルの違いによる加工食品の利用実態は不明です。そこで青森県民を対象としたアンケート調査を行い、その結果をもとに摂取頻度の高い食品群から商品を検討し、食品成分の含有量（主にリン酸）を分析しています。

また、日常で私たちが好んで食べている一般的な食品にもリン酸は多く含まれています。腎疾患と関連するリン酸の多い食材をどのような調理法や献立の工夫により摂取量を減らすことができるのか検討しています。

【現在の研究テーマ】

□市販食品における食品添加物の実態調査とその分析

□調理における栄養成分の変化

【これまでの研究テーマ】

□ヒトのナトリウム尿排泄に関する研究

- ・カップ麺の摂取時刻とナトリウムの尿排泄量について
- ・カリウムはナトリウムの尿排泄に関与しているか
- ・高塩食におけるナトリウムの尿排泄と血中アルドステロンの日内リズム
- ・ナトリウム尿排泄に関わる食事タンパク質の影響について

□汁物の具材と食塩量に関する実態調査について

□介護食に関する研究

